

平成26年12月1日発行

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewashonai



ワールドバザール



20周年記念国際村音楽祭



国際村だより もくじ

- P 2・3 : 国際村20周年記念事業特集
国際村音楽祭&ワールドバザール
- P 4 : 日本語教室ぶどう狩り
コミュニティ通訳自主勉強会
- P 5 : 中国語集中講座
フレンドシップサロン
せかいの台所
- P 6 : これからの事業紹介と募集
- P 7 : 私たちの活動シリーズ②
お便りリレー
- P 8 : せかいの台所レシピシリーズ
ホームページ リニューアル
あとがき

出羽庄内国際村 20周年記念事業

ホームページ リニューアル
しました。

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 64

Quarterly

出羽庄内国際村20周年記念 9/15 MON 国際村音楽祭2014



モンゴル&トゥバ音楽 タルバガン



アラブ音楽 ファルハ

音楽祭報告

20周年記念事業音楽祭実行委員長 漆山 永吉

アッサラ マレクウン 皆さんこんにちは。

アラビア語でのこの挨拶を、紙面を読んでいる何人の方がご存知でしょうか?今回紹介するアラブ、北方アジアの国々は私たちにとってそれほど近くて遠い国々だと思います。今年の国際村音楽祭は20周年記念イベントとしてモンゴル、トゥバの音楽とアラブ音楽の2つのグループと、ダンスに料理にと盛り沢山で楽しめる大企画でした。

この音楽祭の本来の趣旨が普段聞くことの少ない民族音楽を紹介しようというものでしたので、今度の2つの音楽はまさにそうしたジャンルに入るものですが、企画当初ははたして何人の方が来てくれるのか多少不安もありました。準備が進むうちにボランティアのメンバーから色々楽しいアイデアが出され、次第に「これは行けそうだ!」と思うようになり関係者の気持ちも盛り上がって行きました。がしかしチケットが売れていない・・・予算をクリア出来るだけの人が来てくれるのか分からず冷や汗状態で本番の日を迎えました。結果はなんとかクリアで、めでたしHAPPYで謝謝。

お天気に祝福され、まずはタルバガンの演奏が午後3時から始まりました。演奏者2人が馬頭琴などの民族楽器を奏でホーミーと言う喉歌が会場に響くと、まるで大草原にでもいるような気分になり、さらにいつも会場の装飾を担当してくれる小坂さんが今回は演奏者の後ろの大型スクリーンに馬の疾走しているシーンなど次々と音楽に合った映像を写しだすと会場はさらに盛り上がって行きました。大きな拍手の中、彼らの演奏が終わると休憩に入り、会場の隣りの中庭ではアラブレストランがオープン。夕闇の中、テーブルの淡い蝋燭の光が興奮を鎮めてくれました。

すっかりと暗くなった6時30分に第2部のアラブ音



出演者と漆山(左端)



草島裕子サフィナ

楽の始まりです。5人編成でうねるようにゆっくりとまた時には疾走して鳴り響く音楽は、これまであまり耳にしたことが無く、興味津々に聞いているうちに次第に興奮と感動がこみ上げて来ました。後段は午後の演奏ユニット、タルバガンとのコラボレーションや山形を初め全国各地で活躍しているベリーダンサー草島裕子さんとの共演など多彩なメニューで会場も最高潮に盛り上がり、大団円のうちに終了しました。

こうしたいわばマイナーな音楽に沢山の人に来ていただき、成功裡に終了出来たことに深く感謝すると共に、ボランティアスタッフの強力な支援にこの紙面をお借りしお礼申し上げます。



漆山とエジプト料理提供 スルタンさん

エピローグそのⅠ 演奏会終了後の打ち上げは、同ホールでボランティア手作りの芋煮や地酒が振る舞われ、山形の味を演奏者も感激して召し上がっていました。

エピローグそのⅡ 来場者漆山とエジプト料理提供を
スルタンさん を集計してみると、午後の部と夜の部との通し券が予想以上によく売れていて、ディープな民族音楽ファンが多くいることにはビックリしました。

それでは皆さん アマッサラーマ!



9月28日(日)、20周年記念事業の目玉の一つ、ワールドバザールが開催されました。今回は20周年を記念して、みなさんに朝から夜まで国際村を楽しんでいただけるよう、3部構成のバザールを企画しました。朝はヨガと太極拳の無料体験講座、また、これまでは日中だけ開催していたバザールの時間を延長し、夜も開催しました。中庭では世界の料理、館内では雑貨などのバザーやゲームコーナー、ホールでは中国雑技団の特別講演、各国のダンス、音楽などのパフォーマンスが繰り広げられました。玄関前ではフリーマーケットやフェイスペインティング、子どもの遊び場などが設けられ、延べ約4500名の方にご来場いただきました。

ワールドバザール実行委員長より お礼のごあいさつ

20周年記念事業ワールドバザール実行委員長
公益社団法人鶴岡青年会議所 吉宮 哲史

9月28日(日)に開催された出羽庄内国際村20周年記念事業ワールドバザールにご協力、ご来場頂きました皆様にお心よりお礼と感謝を申し上げます。



出羽庄内国際村は平成6年の開設以来、草の根の国際交流の推進と国際理解の充実、そして国際的にも魅力あるまちづくりを目指して取り組んできました。ワールドバザールはその一環として、市民の皆様気軽に幅広く、国際理解、国際交流の場を提供するために行なってきました。

今年には20年目という大きな節目を記念して、今までにない朝から夜までの3部構成により、幅広い企画演出で行うことができ、多くの皆様に堪能して頂けたのではないかと思います。このイベントを通じて、人と人との触れ合いの輪をより大きなものにし、国際交流のさらなる発展につなげて頂けたらと思います。

最後にこのワールドバザールにご協力頂きました関係団体、出演者、ボランティアの皆さまに改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



朝8時30分から行われた太極拳とヨガ体験講座



迫力の中国雑技!



晴天に恵まれたフリーマーケット
夜は館内でも行われました。



様々な国の踊りや音楽、歌などが披露されました。



夜も各国の料理
やステージ発表
を満喫しました。



みんなでぶどう狩りに行きました!

収穫の秋! 出羽庄内国際村の日本語教室のみなさんや家族の方を対象に、庄内ならではの「芋煮」と「ぶどう狩り」を一緒に楽しめるイベント『みんなでぶどう狩りに行こう!』を企画しました。



9月21日(日)、絶好の芋煮会日和の中、46名の参加者が貸し切りのバスで櫛引地区のぶどう農園を訪れました。園内ではちょうど食べごろとなった様々な種類のぶどうがたわわになっていて、参加者はそれぞれ食べ比べをしながら味わっていました。芋煮は、日本語ボランティアが買い出しからすべて準備したものです。ぶどう園に鍋ごと運んで、おにぎりと一緒にいただきました。みなさん庄内ならではの秋を満喫し、学習者同士、ボランティア同士の交流にもなったようです。

参加者の感想 アレックス・リッツ さん

(羽黒高校留学生 アメリカ・コロラド州出身)

9月21日、私は国際村でぶどう狩りに行ってきました!

とても楽しかったです! ぶどう園の中では、私の国では無いようなものもたくさんあって、園内で種類によってなっている場所が決まっています、どこに何の種類があるか確認しながらぶどう狩りをしました。それはとても面白かったです。また、ぶどうは、こんなにたくさんの種類があるのだと驚きました! 私のお気に入りのぶどうはとても甘くて大きく、そしてとても濃い色をしたものでした。国際村でぶどう狩りに行く前には、私の中で、「日本」と「ぶどう」とは全然つながっていませんでした。ぶどうがその原産地以外の別の環境でこんなに育っているのを見て、とても興味深かったです。私はぶどう狩りに行けて、とてもうれしかったです。機会があったらまた行ってみたいです。



10/5(SUN)

コミュニティ通訳自主勉強会 英語グループ in 致道館

国際村では2005年より「コミュニティ通訳」の登録と派遣、言語グループごとの自主勉強会を始めました。自主勉強会では、毎月一



度、中・韓・英の3言語に分かれ、医療や教育現場を主に想定し、専門用語などを確認しながらロールプレイでの通訳訓練を行っています。

内容は生活の場面での通訳がメインですが、観光通訳の依頼もあるため、英語グループは致道館で実地訓練を行ってきました。

この日は、以前致道館の解説員の方に伺った内容



に沿って作成した台本を元に練習しました。3名のネイティブスピーカーに対して1対1、又は2人一組で日本人ガイド役の解説を通訳

するという方法でトレーニングしました。

本番同様に区切らずガイドすると、通訳が追いつくのは難しく、一文ずつ区切って通訳を試みました。それでも専門用語や言い回しに苦戦し、やはり事前の準備が大事ということを実感しました。また専門用語や、その意味、鶴岡の歴史に関する知識も必要であると実感しました。



月に一度の勉強会ですが、スムーズに通訳できるよう、これからも練習を重ねていきたいと思ひます。

中国語集中講座～日常生活を中国語で表現してみよう～

毎年恒例の中国語集中講座が10月19日(日)に開催され、19名の方に参加いただきました。

今年は「日常生活を中国語で表現してみよう！」というテーマで、国際村ホールの中に「家での行動」と「外出先での行動」のブースをそれぞれ二つずつ設け、参加者は中国語で各ブースにいる講師と会話の練習をしました。また、昨年と同様、講師以外にも中国出身の方4名に特別に協力してもらい、「自由会話」のブースも設けました。自分の中国語にまだ自信がない、どう表現したらよいかわからないという参加者は、「中国語なんでも相談所」という特設コーナーで先生に教えてもらいました。普段中国語で話す機会がなかなかないので、この集中講座でたくさんのネイティブと思いきり会話ができ、中国語を聞き取る力と表現力とを試す機会にもなったようです。



講座の後半には今回の学習のまとめとして参加者の自由発表がありました。趣味、仕事、夢や中国語学習の感想など、自分が関心を持っていることをみなさんは流暢な中国語で発表しました。どれも素晴らしく、先生たちはとても感動して聞いていました。



参加者より（アンケートから抜粋）

- 初めて参加しましたが、初心者にも親切に教えていただき、とても楽しく有意義に過ごすことができました。
- 普段は教科書を中心に勉強しているので、今回のように会話中心の勉強はすごく貴重な機会だと思っています。来年も参加したいです。その時は今日よりも上手く言えるようにこれから更がんばります。

10/4 フレンドシップサロン 《コロラドスタディツアー2014報告会》

フレンドシップサロンは、毎回様々な分野で活躍されている方をゲストに招き、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ“お話しサロン”。今回は、今年の夏の＜中高生・社会人コロラドスタディツアー＞参加者の4名から、アメリカ・コロラド州での体験や感想を発表していただきました。

コロラドの自然の雄大さに感動したり、その自然の中で乗馬等のアクティビティを楽しんだり、英語のみで学ぶ授業に真剣に取り組んだり、ホームステイ先での家族との交流を楽しんだり…映像で見る皆さんの姿は本当に楽しそうでした。コロラドに行く前はホストファミリーとの英語でのコミュニケーションに不安を感じていた参加者も、今では英語のみならずいろいろな事に自信がついたそうです。

今回の報告会には、来年度のツアー参加に興味があるという方も、何名かいらしてくださいました。報告会を通して、このツアーの魅力が皆さんに伝わったようです。



10/18 せかいの台所 《メキシコ料理》



今年度第4回目のせかいの台所は、メキシコ料理。講師のグレッグ・ソティロスさんはアメリカ出身ですが、お母さんがメキシコ出身だということで、今回はタコス、サルサソース、メキシコの伝統的ソース・モレ、そしてお母さんがよく作っていたというメキシカンスープの4品の作り方を教わりました。

タコスは日本でもよく食べられていますが、モレは参加者全員初体験！ポブラーノという辛い唐辛子や様々なナッツ類、ダークチョコレート、バナナを刻んで混ぜて煮込んだソースで、焼いた鶏肉にかけて皆で試食。甘くも辛くもなく、何とも不思議な味わいの一品でした。

タコスもモレも意外にこってりしていたのですが、たっぷりの生野菜とレモンの爽やかさで、後口さっぱりな料理に仕上がりました。国際村ホームページに作り方を掲載していますので、ぜひご家庭でも作ってください。





これからの事業紹介と募集



12月のせかいの台所 ～台湾料理～

料理教室「せかいの台所」は国際村の人気講座の一つで、今回は今年度5回目です。
 日時：12月21日(日)午前10時～午後1時ごろ
 講師：鶴岡市在住、台湾出身の安達 雅子さん
 メニュー：三杯中巻(イカを使った料理)、蚵仔煎(牡蠣のお好み焼き)、キュウリスープ
 定員：20名
 (年間会員は9名、一般募集は11名)
 参加費：2,000円(材料費込)
 ※国際村賛助会員の方は、1割引きです
 申込み：12月6日(土)午前9時より受付開始

台湾は四方を海に囲まれ、豊かな海の幸に恵まれています。今回紹介したい台湾料理(台菜)は海鮮料理の「三杯中巻」と「蚵仔煎」です。

台湾の夜市で楽しめる小吃は市民の生活や文化を表しているため台湾本土料理の特色を良く知るには、各地の夜市の小吃を食べ歩くのが一番です。



出羽庄内国際村 外国語講座 (1月～3月)

◎初心者・入門コースに関しては、4月から1年をかけて学んでいます。事務局では見学(1回のみ無料)をおすすめしています。各講座 受講者3名より開講です。



英 語				
初心者英会話 グレッグ・ソティロス 先生	1/8～ (10回)	木	19:00～ 20:30	13,000円
レベルアップ中級英語 トーマス・スレルフォ 先生	1/7～ (9回)	水	19:00～ 20:30	11,700円
中国語				
入 門 楊 詠麗 先生	1/9～ (10回)	金	19:00～ 20:30	13,000円
初 級 康 彦玲 先生	1/6～ (10回)	火	19:00～ 20:30	13,000円
中 級 楊 詠麗 先生	1/10～ (10回)	土	19:00～ 20:30	13,000円
韓国語				
入 門 崔 鍾美 先生	1/9～ (10回)	金	19:00～ 20:30	13,000円
初 級 蔡 明子 先生	1/9～ (10回)	金	19:00～ 20:30	13,000円
中 級 金 玟兒 先生	1/7～ (10回)	水	19:00～ 20:30	13,000円

この他、英語・中国語・韓国語のフリートーク型講座もご用意しています。詳しくは国際村事務局までお問い合わせください。

★ホストファミリー募集★

ホームステイをサポートして下さるホストファミリーになってみませんか？

国際村ではホストファミリーになって下さるご家族を募集しています。
 ホームステイの受け入れを通して、様々な価値観や文化を共有できる素敵な体験をしてみませんか？日本にいながら家族全員が異文化体験できるのはホストファミリーの醍醐味です。改めて日本の文化や習慣の良さに気づく良い機会にもなります。
 出身国や年齢など様々ですが、日本の生活や文化、言語などに興味を持った留学生が通年来日しており、その数は年々増加傾向にあるようです。「英語が話せない」や「同世代の子どもがいない」などの心配はいりません。留学生を家族の一員として暖かく迎えて下さるご家族であれば歓迎いたします。特別なことをする必要はありませんので、ありのままの日本の生活を体験させてあげてください。通常、謝礼として訪問

者から食費程度の負担をいただいております。
 ホストファミリーにお願いしていることは、滞在中の生活スペースの提供、朝夕の食事の用意などです。各家庭の事情は様々ですので、細かい点についてはその都度相談に応じます。
 興味のある方のご協力いただける方は国際村までご連絡ください。



- ホストファミリーになると、こんなことが…
- 文化や考え方の違いを学ぶことができる
 - 国外に友達ができる
 - 国外に興味をもち、視野が広がる
 - 日本の文化を再認識する

私たちの活動 ②

ねこまねき International Wide

国際村20周年おめでとうございます。
 私たちの活動も同じく20年目に入りました。
 ガーナから来鶴されたビクトリアさんと親子同士の交流から始まり、様々な国の方々との出会いがありました。
 時の流れとともに、私たちが成長したように思います。お客様をもてなす感覚の“おもてなし国際交流”から、ともに「違い」を楽しむ交流に変わっていきました。現在は、外国の方の参加がなくても、料理を通じて「違い」を楽しむ料理研究所と、社会見学や学習会を通して「知識」を共有するGlobal Eggの二本立てで活動しています。
 どなたでも自由に参加できますよ。あなたの参加をお待ちしています。



↑ 武道館で柔道体験



↑ 銀座通りをお雛さま散歩



↑ 茶道体験



↑ 長いのり巻作り



↑ 納豆工場見学



↑ 消防署で通報体験



← 酒田共同火力見学

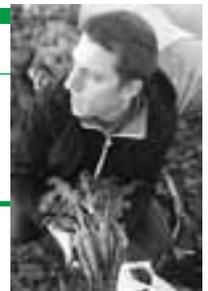


2001年～2004年 鶴岡在住 現在は東京都在住

ジェイ ファリス

Jay Farris さん②

アメリカ合衆国出身
元鶴岡市教育委員会
外国語指導助手



関東では、農地の相続人がいないか、相続人が農業に興味ないという影響で、農地の面積が急激に減り、失われつつある。

私にはその庄内での幸せな思い出があったため、大学院でのテーマが緑地の少ない東京では、どのような工夫をしているかという研究をし、その結果、農業体験農園を発見した。東京の多くの農地は都市化された住宅街の真ん中にあり、区に周りの住民が、迷惑だと言っているようだ(研究で面白いことが分かったが、練馬区ではそのような苦情を言われた場合、区役所の基本的な答えは「元々農地だったので、その土地に引っ越した時にご存知でしたね?」と言うのだそうだ)。

農地と住宅街が混在している中、農家でない住民も参加するためには農地体験農園がそれぞれの住民を繋ぎ合わせることができると思い、研究では農地の継続問題に対する解決方法の一つではないかと考えた。研究の結果は、ある程度そうだったが、問題自体はそれより大きいのである。

大学院を卒業し会社員になったが、それから農地

やその問題が忘れられない。研究していた農業体験農園の一つに自分の区画を借りて、自分でちょっとした農業をしてみた。最近はその続きで、パーマカルチャーデザインという農法を勉強し、今年の7月資格を取得した。この農法は自然農業に似ていて、自然と共に農業をする方法である。昔の里山もパーマカルチャーと言える。自然な状態の森林は特別な管理の必要がなく、手入れをしなくても生き続けられる。その養分循環を真似して農地をデザインすることで、管理のための作業を少なくすることができる。世界中で効率のいい農業があり、素晴らしい事例があるので(例としては、モロッコにある1000年も生き続けてきた果物森林など) 高齢者でも少ない負担で農業ができるので、この農法がもう一つの農地減少問題の解決方法になるであろうと思う。現在は農地デザインビジネスという新しい夢を抱いている。鶴岡に住まなかったら、農地の美しさや実際に農業に寄り添った生活の魅力が分からなかったのかなと、今でも思う。

せかいの台所 レシピシリーズ



ラオス料理

講師 ピラワン・マリサーさん

(ラオス人民民主共和国チャンパーサク出身)



8月30日に実施された「せかいの台所～ラオス料理～」より、ラオス料理を代表する“ラープ”をご紹介します。ラープ・ムーは、豚肉のラープです。



【ラープ・ムー 材料(4～5人分)】

- | | |
|----------------|-----------------|
| ○豚肉…300g | ○鶏の肝…150g |
| ○カー(ナンキョウ)…大1個 | ○コブミカンの葉…4枚 |
| ○ライム…4個 | ○塩、化学調味料…小さじ1 |
| ○ナンプラー…小さじ2 | ○米粉…小さじ3 |
| ○一味唐辛子…小さじ2～3 | ○生赤唐辛子…3本 |
| ○万能ねぎ…4～3本 | ○レタス…大1個 |
| ○きゅうり…4本 | ○レモングラス(お好み)…適量 |

作り方

- ①豚肉をよく焼いて油を落とし、細かく刻んでボウルに入れる。
刻んでおいたカー、コブミカンの葉、レモングラスを入れて混ぜる。
- ②ライム汁、塩、化学調味料、ナンプラー、米粉(もち米を茶色くなるまで焼いて粉にする)、一味唐辛子、赤唐辛子、焼いて刻んでおいた鶏の肝を入れて混ぜる。
- ③最後に刻んだ万能ネギを加えて混ぜる。
器に盛り付け、もち米と一緒に食べましょう！



あ と が き

国際村オープン20周年の今年、実行委員の皆さんからは、春先からの準備を含め、音楽祭、ワールドバザールと、大いに盛り上げていただきありがとうございました。

また今年も、新しい試みとして小学校教諭のためのコロラドスタディツアーと、2年後にアメリカでホームステイする事を目標にした、小学生のための英語講座の、2つの事業がスタートいたしました。

前者は、コロラドスタディツアーでお世話になっている、デンバーにある英語と異文化教育の専門機関の先生との雑談から提案され、後者は、毎年6月に来鶴しているコロラドユースインアクションの皆さんとの交流を通し、鶴岡の子供にも同じような活動をさせたいという親御さんの熱意から生まれたものです。

これまでの地道な活動の中から、新しい取り組みが生まれるなど、今年も20年目の新たなスタートの年にふさわしい1年であったと感じています。引き続きご支援よろしくお願いたします。

出羽庄内国際村20周年を迎え、ホームページをリニューアルしました。



今年、出羽庄内国際村20周年を迎え、今までのホームページをリニューアルし、更に見やすくなりました。ホームページアドレスは今までと同じです。

<http://www.dewakoku.or.jp/>

国際村の人気講座「せかいの台所」レシピ集も、以前より利用しやすくなっております。今後は、実施した事業の報告書についても順次ホームページに掲載していきたく考えています。

また、フェイスブックも始めました。国際村ホームページ同様、最新情報を掲載していますが、フェイスブックの方では事業のスナップ写真をたくさん掲載しています。



【国際村 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/dewakoku>】